

書面決議で総会

球磨川漁協(堀川泰注組合長)は先月31日、八代市の同組合事務所

で書面決議による。正組合員997人のうち664人が書面決議を提出。理事、監事、職員

の立ち会いで、事業計画と予算(同)などい



設立総会で選ばれた役員たち

新たに「蔵ツトリズム」

球磨焼酎蔵元ら集い協議会設立

球磨焼酎の蔵見学を観光商品化して知名度の向上と消費拡大、地域の観光振興や経済浮揚を目指す

「蔵ツトリズム」を確立しようと、蔵元、酒販店、焼酎蔵ツトリズム協議会が設立された。

郡市の27蔵元のうち18蔵元が蔵見学を受け入れて、受け入れ態勢や活用面で課題を抱えていた。

有料による試飲や体験プログラムにより愛飲家や消費拡大につなげている事例を受け、郡市でも「球磨焼酎蔵ツトリズム」を確立しよう

と、蔵元、酒販店、観光施設の有志が昨年15人で協議会を立ち上げた。

今後、蔵見学の受け入れ態勢や体験メニューを検討し、国内外の観光客が地域を回遊す

る観光商品づくりを進めていく。

設立総会は、午後6時から入吉市九日町のあゆの里で開かれ、会員や来賓22人が出席。発起人を代表し、鳥越商店(入吉市)の鳥越英夫代表が「さまざま

な形で営業活動をしているが、球磨焼酎の消費拡大につながる。蔵元が一生懸命造っている姿、人吉球磨の風景を感じてもら

ることが売り上げにもつながり、観光客が寄ること

で地域全体の浮揚にもなるのでは」と趣旨を説明。議事では、規約、運営委員と役員

の選任、事業計画と予算などを承認した。会長に大和一酒造元(入吉市)の下田文仁(52)を選

にしっかりと準備を進めて球磨焼酎蔵ツトリズムを確立し、国内、海外からお客を招き入れて球磨焼酎の魅力発信したい」とあいさつ。来賓の南直樹熊本国税局酒類業調整官、松岡隼人入吉市長、池邊道人球磨焼酎酒造組合理事長が「協議会が核になり、人吉球磨の牽引役に」とエールを送った。

役員は次のとおり。▽会長 下田文仁(大和一酒造元) ▽副会長 堤純子(織月酒造)

▽副会長 堤純子(織月酒造)、那須雄介(那須酒造場) ▽専務理事

鳥越英夫(鳥越商店) ▽運営委員 大石和教(大石酒造場)、高橋昌也(高橋酒造)、林泰広(林酒造場) ▽特別委員 久保田浩敬(久保田酒造)

▽監事 深野誠一(深野酒造)、有村充弘(あゆの里)、永江友二(くま川鉄道) ▽顧問 池邊道人(六調子酒造)

本社来訪

▽原田茂氏(球磨工業高校校長)、藤本隆氏(同校教頭)は2日、新任あいさつ。

中止や延期

新型コロナウイルス関連で、5月19日・22日、第28回「彩葉杯」人吉市ミニバレーボール大会

農業委員10人

員の募集は、3月19日

は少ない状況。最低でも1500万円は放流し、ブランド化を図るためにも関係機関に中間育成施設の増設を求めている」と話している。

また、推進委員は募集15人、うち9人の応募があった。内訳は現職9人、新人が5人、元農業委員1人。地区別で藍田が4人、中原と西

肩こり、腰痛、お仕事でお疲れの方へ 営業▶夜9:00まで(お気軽にどうぞ!) TAKE OUT

ピザ サンドイッチ 1,000円 650円~

あさぎりレンタカー いろいろご利用下さい。★マイクロバス有り ★トラック有り